



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 18

2025.9.19 文責：校長 松田

校外学習（1～4年）

9月17日（水）、1年生から4年生までが、それぞれの学年の特色を活かした生活科・社会科見学に出かけました。子供たちは、楽しみながら多くのことを学んできました。

1・2年生は、生活科の学習として、公共交通機関を利用した学習を実施しました。駅での乗り方や電車のマナーを実地で学びつつ、図書館にも立ち寄り、本の借り方を知りました。公園での自然遊びは、雨天のため体育館でのニュースポーツ体験に。初めての動きやルールでしたが、みんなで元気に体を動かしました。楽しさの中に新しい発見がいっぱいの一日となりました。



3年生は、社会科の学習として地域の消防署、警察署、そしてスーパーの見学に出かけました。消防署では、実際の消防車や救急車の仕組みを見学でき、子供たちの目は興味津々。警察署では、地域の安全を守る仕事の大切さを学びました。スーパーでは、商品がどのように店頭に並ぶのか、その裏側を知る貴重な体験ができました。



4年生は、水についての社会科見学として、防災センターと浄化センターを巡りました。防災センターでは、洪水が起きない仕組みや水による災害について学び、浄化センターでは水がどのようにきれいに処理されるのかを実際に見学しました。きれいな水の大切さを改めて実感しました。どちらも子供たちにとって大変貴重な学習の場となり、多くの気づきがありました。



鉄づくり体験(6年)

9月12日(金)、6年生は地域のホッパの会の皆さんのサポートを得て、1学期に集めた砂鉄を使って伝統技術「たたら製鉄」に挑戦しました。砂鉄から鉄が出来上がる様子を目の当たりにした子供たちは、「本当にできるんだ!」と歓声を上げ、大変ながらも自分の手で鉄を作る達成感を味わいました。また、たたら炉の準備から製鉄工程まで支えてくださったホッパの会の方々には「鉄ができるまで一つ一つ教えていただいてありがたかった。鉄づくりの大変さを知ることができた」と感謝の思いを強く抱きました。完成した鉄は、今後卒業記念品の文鎮として加工される予定であり、形になるのが待ち遠しいと楽しみにしています。この貴重な体験を通じて、地域の力や伝統技術のすばらしさを学ぶことができました。



敬老会(1~3年)

9月14日(日)、1~3年生は地域の敬老会に参加し、元気な動きのダンスやアコーディオンに合わせた校歌を披露したほか、日頃の感謝を込めたあたたかいメッセージを発表しました。元気いっぱいのダンスに会場からは思わず笑みがこぼれました。校歌は会場の皆さんと一緒に歌い、たくさんの拍手をいただきました。感謝のメッセージでは、おじいさんやおばあさんへの気持ちを伝え、敬老会に参加した方々を笑顔で包んだひとときとなりました。



食に関する授業(4年)

9月18日(木)、4年生が大東学校給食センターの栄養教諭の先生をお招きして食に関する授業を行いました。4年生は、元気な体をつくるための食事について学びました。先生からは、丈夫な骨をつくることが重要であることが話され、そのためには、栄養をとる食事(成長期に必要な栄養は特に「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミン」)や適度な運動、睡眠が大事であるとのことでした。子供たちは熱心に耳を傾け、食事が健康に及ぼす影響について理解を深めました。

